

2022 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	概括	1
II	部会関係	2
	1. ボイラ・原動機部会	2
	2. 鉦山機械部会	3
	3. 化学機械部会	4
	4. 環境装置部会	5
	5. タンク部会	15
	6. プラスチック機械部会	16
	7. 風水力機械部会	18
	8. 運搬機械部会	20
	9. 動力伝導装置部会	22
	10. 製鉄機械部会	22
	11. 業務用洗濯機部会	23
	12. エンジニアリング部会	24
III	委員会関係	25
	1. 政策委員会	25
	2. 労務委員会	26
	3. 貿易委員会	28
	4. 編集広報委員会	29
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	30
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	30
	7. 環境委員会	30
	8. エコスラグ利用普及委員会	32
IV	関西支部関係	33
V	共通基盤事業関係	37
VI	共通基盤活動関係	41

I 概括

2022 年度の日本経済は、欧米諸国に比べ遅れていた新型コロナウイルス禍からの回復が進むと期待されていたものの、エネルギー価格の高騰や原材料高、半導体をはじめとする部材の供給制約等が企業の事業活動に影響を及ぼした他、年度後半には海外の景気減速に伴い輸出が伸び悩むなど、緩やかな成長にとどまった。

そのような状況のもと、一般社団法人日本産業機械工業会（以下、当工業会という）の 2022 年度の受注は、内需・外需共に増加し、前年度比プラス 6.4%の 5 兆 2,652 億円となり、2 年ぶりに 5 兆円台へ回復した。内需については、電力業の落ち込みを紙・パルプや鉄鋼、非鉄金属、はん用・生産用、情報通信、自動車等の幅広い業種の増加が補う形で民需が横ばいとなり、ごみ処理装置の発注量の増加で官公需が伸張したことから、2 年ぶりに前年度実績を上回った。外需については、中国を始めとするアジア地域が増加した他、中東やヨーロッパ等のほとんどの地域が増加し、2 年ぶりに前年度実績を上回った。

こうした中、当工業会では、エネルギー・環境分野等の地球規模の課題解決、我が国産業の生産性向上・競争力強化、産業機械産業の更なる成長を実現すべく、各部会・委員会活動を通じて、各種事業に取り組んだ。

国際交流・技術協力に関する事業では、海外貿易会議の関連情報の収集等の開催準備、海外の産業機械の市場動向及び諸外国の貿易政策等について調査を行った。

カーボンニュートラル・循環経済等、地球環境問題への取り組みについては、環境活動基本計画による地球温暖化対策等の推進を図った他、優秀環境装置の表彰、CO2 回収及び利活用分野への取り組み方の検討、射出成形機のエネルギー消費量の測定方法の検討、リネンサプライ工場の CO2 削減に向けた処理能力別最適モデルの検討等を行った。

標準化に関しては、日本産業規格（JIS）、国際標準化機構（ISO）、当工業会規格（JIMS）等の規格の制定・改正等に取り組んだ。

安全対策と産業事故等の防止については、「射出成形機の予防保全の重要性」、「汎用ポンプのトラブルシューティング」、「汎用ポンプ保守管理について」、「ロータリ・ブロウ（ルーツ式）の手引き」、「ポンプ・送風機の地震への対応について」等の作成を行った。

調査研究については、新環境ビジネスの創出に関する調査研究（今後成長が期待される分野、新たな水環境ビジネス、バイオマスエネルギーの利活用、先端技術、IoT・AI 活用）、プラスチック機械に関する米国、中国及び欧州の特許情報の調査、イギリス UKCA マーク、欧州エコデザイン指令改正、米国 TSCA 規則に関する調査、コネクテッドインダストリーズ、デジタルトランスフォーメーション、カーボンニュートラルに関する技術動向調査等を行った。

その他、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び先端設備導入に関する税制措置への対応、適正取引の推進に向けた行動計画の推進等を行った。

これら事業等の実施にあたっては、関係省庁及び関連団体並びに多数の有識者から様々な形で協力を賜った。

ここに会員共々関係各位に厚く感謝の意を表するものである。

Ⅱ 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

2022年6月2日の部会総会において、次のとおり選任した。

部 会 長：高橋 祐二 三浦工業株式会社 取締役会長（再任）

副 部 会 長：詫間 俊二 株式会社サムソン 専務取締役（兼）
専務執行役員（再任）

(2) 統計調査の実施

ボイラの機種別、容量別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(3) エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. 2022年10月12日に次の通り勉強会を開催した。

テーマ：液化水素普及の現状と課題

講 師：西江 秀夫 殿 岩谷産業株式会社 水素本部 水素ガス部 担当部長
市原 謙介 殿 岩谷産業株式会社 水素本部 マネージャー

イ. これまでCO2削減対策として調査した水素やアンモニアなどの技術や装置の内容の取りまとめについて検討を行った。

ウ. 一般社団法人低炭素投資促進機構が行う低炭素設備リース信用保険、及び一般社団法人環境金融支援機構が行うESGリース促進事業適合性確認と製品の登録申請を行った。

(4) 施設調査の実施

ア. 2022年10月6日に沖縄電力株式会社宮古支店 宮古第二発電所を訪問し、デュアルフューエルエンジン発電設備、ディーゼル発電設備、ガスタービン発電設備等の視察を行った。

イ. 2023年2月16日に東邦ガス株式会社 技術研究所を訪問し、工業炉用バーナ開発・水素燃焼技術、CO2分離回収システム評価試験設備などの視察を行った。

(5) 講演会の実施

2022年4月19日にタンク部会と合同で次の通り開催した。

テーマ：カーボンニュートラル時代における水素政策の今後の方向性

講 師：安岡加菜子 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギーシステム課 水素・燃料電池戦略室 係長

(6) 部会間の交流

部会の活動及び各社の事業の参考となることを目的にタンク部会との交流の内容について検討を行った。

(7) 女性職員間の交流促進のあり方の検討

女性職員間の交流促進を目的に営業職の日常業務について情報交換を行った。また以下の施設調査を実施した。

ア. 2022年10月25日にANAコンポーネントメンテナンスビルを訪問し、機体の整備などの視察を行った。

イ. 2023年1月12日に東京ビッグサイトで開催された第11回国際化粧品展の視察を行った。

(8) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。

ア. ISO/TC161（ガス及び/又は油用制御器及び防護装置）国内対策委員会及びWG

イ. ISO/TC109（オイル及びガスバーナー）国内対策委員会

2. 鉦山機械部会

(1) 役員改選

2022年7月21日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：村上 宏 株式会社幸袋テクノ 代表取締役社長（再任）

副部会長：伊藤 春彦 株式会社東亜利根ボーリング 代表取締役社長（再任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 機械安全の推進

ア. ボーリングマシンに関する「安全マニュアル」の改訂版を引き続き作成した。

イ. 「ボーリングポンプ、グラウトポンプ」、「マッドミキサ、グラウトミキサ」に関する「安全マニュアル」の見直しを引き続き検討した。

(4) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。

(5) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会 2022年7月21日

テーマ：「資源循環のための物理的分離技術の現状と課題」

講師：所 千晴 殿 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授

イ. 研修会

a. 2022年5月20日

北海道石灰化工株式会社（北海道苫小牧市）を訪問し、生石灰（石灰石を高温で焼く）の製造工程を見学した。

b. 2022年11月10日

ラサ工業株式会社 羽犬塚工場（福岡県筑後市）を訪問し、破碎機等の製造工程を見学した。

c. 2022年12月8日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）筑波宇宙センター（茨城県つくば市）を訪問し、宇宙開発を進めてきた、JAXAの歩みについて見学した。

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般財団法人日本規格協会等との交流を行った。

3. 化学機械部会

(1) 役員改選

2022年7月8日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：藤田 直哉 月島機械株式会社 取締役常務執行役員
産業事業本部長（再任）

副部会長：今中 照雄 株式会社神鋼環境ソリューション 取締役専務執行役員
プロセス機器事業部長（再任）

副部会長：重 洋一 木村化工機株式会社 取締役 エンジニアリング事業部
事業部長 兼 営業部 部長（再任）

(2) 調査研究の実施

ア. 製造物責任に関するリスクヘッジをテーマに情報交換を行い、対応について検討した。

イ. 若手社員育成のために基礎講座を2023年3月23日に次の通り開催し、参加者の知識向上に貢献した。

テーマ：騒音制御入門

講師：今井 喜宣 殿 株式会社ササクラ・エーイー 東京業務本部
営業第一グループ 技術グループ 課長

テーマ：化学機器の紹介

講師：伊藤 幸香 殿 UBEマシナリー株式会社
産機事業本部 化工・粉砕技術部 化学機器グループ

テーマ：ポンプの選定について

講師：岡本 茂 殿 株式会社荏原製作所 建築・産業カンパニー
国内事業統括部 営業推進部

(3) 講演会の実施

2022年9月6日に次の通り開催した。

テーマ：脱炭素、カーボンニュートラルに関する補助事業の活用について

講師：田崎 剛史 殿 株式会社エネルギーソリューションジャパン
代表取締役

(4) 施設調査の実施

2022年11月24日にUBEマシナリー株式会社本社工場を訪問し、成形機などの製造工場の視察を行った。

4. 環境装置部会

(1) 環境装置部会の構成の見直し

社会の変化に対応して、部会において実施すべき事業を見直し、部会の委員会等の構成を実施事業にふさわしい体制とすることを検討した。

ア．幹事会は、部会全体の総合調整機能に加えて、環境技術情報の発信、規格化、国際交流等の事業を所管することにより、環境技術普及委員会等の4つの組織を統廃合する。

イ．独立委員会のエコスラグ利用普及委員会は、環境装置部会の下の委員会に位置づけるとともに、傘下の2分科会を同委員会に統合する。

(2) 役員選任

2022年4月19日の部会総会において、次のとおり選任した。

副部会長：中根 幹夫 新東工業株式会社 上席執行役員
エコテックカンパニー カンパニー長（新任）

(3) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。

(4) 標準化の推進

当工業会が原案作成団体となっている環境関連 JIS について、改定の必要性及び緊急性について意見を聴取した。

(5) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

環境装置産業としてのビジネスチャンス拡大に向け、地域の自立・自律や活性化を指向した取組について環境装置産業の今後の在り方を取りまとめるため、自律した地域社会形成のための役割について検討し、具体的な調査対象地域、調査項目を絞り込むと共に、貢献策の方向性を定めた。

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

a. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

カーボンニュートラルに向けた水素活用、バイオものづくり技術、エネルギー分野におけるデジタル化、地熱発電、廃棄物の資源化に関する情報収集を行った。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

下水道のグリーンイノベーションに向けた政策及び技術動向、食品廃棄物及び下水汚泥の資源・エネルギー化技術、嫌気MBR及びアナモックスなどの排水処理技術、ブルーカーボンへの取組に関する情報収集を行った。

c. バイオマスエネルギーの利活用に関する調査研究

2050年カーボンニュートラルの達成に向けたバイオマス発電に関する政策及び技術動向、間伐材及び廃棄物、非可食バイオマスの燃料化等の利用技術に関する情報収集を行った。

d. 先端技術に関する調査研究

2030年頃の社会実装や2050年以降の実用化を目途とした、将来の環境ビジネスに資するであろう最先端の研究開発技術の調査について幅広く情報収集を行った。

e. IoT・AIの活用に関する調査研究

製造現場、建設業、廃棄物処理業におけるデジタルトランスフォーメーションの取組み事例や、活用技術、人材育成について情報収集を行った。

f. セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2022年4月20日

テーマ：Gateway 構想におけるサブシステム

(環境制御・生命維持装置) への参画について

講師：辻 紀仁 殿 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

有人宇宙技術部門ゲートウェイ居住棟

プロジェクトチーム プロジェクトマネージャ

2022年5月11日

テーマ：気候変動と極端気象現象の過去と未来

講師：塩竈 秀夫 殿 国立研究開発法人 国立環境研究所

地球システム領域

地球システムリスク解析研究室 室長

2022年5月17日

テーマ：OTセキュリティに関する昨今の動向と弊社サービス紹介
講師：半田伸太郎 殿 NRI セキュアテクノロジーズ株式会社
DXセキュリティコンサルティング事業本部
IoTセキュリティ事業部
シニアセキュリティコンサルタント

2022年6月1日

テーマ：ブルーカーボンに関する取組と今後の展望
講師：桑江朝比呂 殿 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）
理事長
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長
テーマ：バイオマス発電政策等について
講師：菊野 泉 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 課長補佐

2022年6月6日

テーマ：エネルギー×デジタルの取組みと今後の展望
～世界有数のサイバー・フィジカル・システム（CPS）
テクノロジー企業への変革～
講師：荒井 康隆 殿 東芝エネルギーシステムズ株式会社
DX統括部 ゼネラルマネジャー

2022年6月15日

テーマ：下水処理への嫌気MBR、生物メタネーション適用の現状と将来展望
講師：渡邊 亮哉 殿 大成建設株式会社 技術センター
都市基盤技術研究部 環境研究室
環境保全チーム 副主任研究員

2022年6月16日

テーマ：未利用間伐材等のエネルギー利用促進に向けた取り組み
講師：日比野佑亮 殿 農林水産省 林野庁 林政部
木材利用課 課長補佐

2022年7月7日

テーマ：ポンプ設備の省エネ化に向けた取り組み（標準ポンプを中心に）
講師：岡本 茂 殿 株式会社荏原製作所 標準ポンプ事業部
国内営業推進部 シニアアドバイザー

2022年7月27日

テーマ：再エネ政策・制度の今後の展望
～ビジネスモデル・技術開発への示唆～
講師：柴田 善朗 殿 一般財団法人日本エネルギー経済研究所
電力・新エネルギーユニット 担任補佐

(兼) 次世代エネルギーシステムグループ
マネージャー 研究理事

2022年7月28日

テーマ：我が国における陸上養殖技術動向とその経済性、
未利用資源の活用可能性

講師：遠藤 雅人 殿 東京海洋大学 海洋生物資源学部門 准教授

2022年8月23日

テーマ：脱炭素実現に向けたDXへの期待
～仮想発電所(VPP)の現状と課題～

講師：谷津 綾乃 殿 株式会社クニエ
グローバルストラテジー
& ビジネスイノベーション担当 マネージャー

2022年8月31日

テーマ：UMITORON install Sustainable Aquaculture on Earth

講師：藤原 謙 殿 ウミトロン株式会社 代表取締役

2022年9月1日

テーマ：カーボンニュートラルに向けた航空機燃料に係る取組について

講師：宮田 豪 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
資源・燃料部 石油精製備蓄課 課長補佐

2022年9月2日

テーマ：「建設デジタルプラットフォーム」で目指す建設業のこれから

講師：金澤 英紀 殿 株式会社竹中工務店 デジタル室
デジタル企画グループ長

2022年9月12日

テーマ：バイオマス由来マテリアル生産技術について

講師：近藤 昭彦 殿 神戸大学 副学長
／科学技術イノベーション研究科 教授
理化学研究所 環境資源科学研究センター
副センター長

2022年10月6日

テーマ：食品ロスの削減及び食品リサイクルに関する動向

講師：森 幸子 殿 農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部
外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室
食品ロス削減・リサイクル班 室長

2022年10月7日

テーマ：熱プラズマ技術の水処理および廃棄物処理への応用、将来展望

講師：渡辺 隆行 殿 九州大学大学院 工学研究院
化学工学部門 教授

2022年10月19日

テーマ：政府の脱炭素・カーボンニュートラル関連政策動向

講師：段野孝一郎 殿 株式会社日本総合研究所
リサーチ・コンサルティング部門
ディレクタ/プリンシパル

(環境装置部会、循環ビジネス交流会との共催)

テーマ：大気中からの CO2 分離・回収技術について

講師：山地 憲治 殿 公益財団法人地球環境産業技術研究機構
理事長

2022 年 11 月 16 日

テーマ：国内外におけるバイオマス熱利用動向

講師：松原 弘直 殿 認定 NPO 法人
環境エネルギー政策研究所 理事

2022 年 11 月 21 日

テーマ：産廃業界に特化 AI で配車計画を自動作成

講師：近藤 志人 殿 ファンファーレ株式会社 代表取締役 CEO

2022 年 12 月 13 日

テーマ：CO2 回収技術を中心とした三菱重工グループの脱炭素戦略について

講師：洲崎 誠 殿 三菱重工業株式会社
CCUS ビジネスタスクフォースリーダー

(環境装置部会との共催)

2022 年 12 月 16 日

テーマ：Trend of Process Automation Industry

ーIA2IA 自動化から自律化へー

講師：楊 燁 殿 横河電機株式会社 マーケティング本部
Market Intelligence センター

テーマ：YOKOGAWA オリジナル AI とその事例

講師：小淵恵一郎 殿 横河デジタル株式会社
執行役員 DX サービス事業部長

2022 年 12 月 21 日

テーマ：地熱発電大量導入に向けた課題と解決策
及び革新的技術開発の最新動向

講師：浅沼 宏 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所
再生可能エネルギー研究センター
副研究センター長 (兼) 地熱チーム長

2023 年 1 月 13 日

テーマ：排水・排ガス中低濃度窒素化合物からのアンモニア製造で実現する
窒素資源循環

講師：川本 徹 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
ナノ材料研究部門 ナノ粒子機能設計グループ

首席研究員
株式会社ナノブルー 取締役（技術担当）

2023年1月20日

テーマ：メタバース思考～身体と環境の自在化に向けて～
講師：稲見 昌彦 殿 東京大学
総長特任補佐・先端科学技術研究センター
身体情報学分野 教授

2023年1月24日

テーマ：「ゼロカーボンシティ真庭」の実現を目指した取組み
～ごみ削減・有効活用を中心に～
講師：栢尾 高行 殿 真庭市 生活環境部 環境課 主査

2023年1月30日

テーマ：COURSE50・GI 基金事業を中心とした
日本鉄鋼業のCO2削減技術開発について
講師：石渡 夏生 殿 JFE スチール株式会社
技術企画部カーボンニュートラル推進グループ
主任部員（部長）
COURSE50&グリーンイノベーション基金事業/
製鉄プロセスにおける水素活用プロジェクト
副プロジェクトリーダー補佐

2023年2月9日

テーマ：グリーンイノベーション下水道の実現に向けて
講師：藤岡 勝之 殿 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道企画課
資源利用係長

2023年2月14日

テーマ：AI単純化技術のご紹介 –日立のアプローチと適用事例–
講師：濱本 真生 殿 株式会社日立製作所
研究開発グループ
先端 AI イノベーションセンタ
メディア知能処理研究部 リーダ主任研究員
難波 博之 殿 株式会社日立製作所
研究開発グループ
先端 AI イノベーションセンタ
メディア知能処理研究部 研究員

テーマ：図面データの資産化とその可能性
講師：村井 達哉 殿 キャディ株式会社 DRAWER 事業部 営業部
シニアマネージャー

2023年2月21日

テーマ：脱炭素社会でバイオマス発電が果たす役割と今後の展望
講師：大出 賢幸 殿 株式会社レノバ

執行役員 オペレーション本部長

2023年3月1日

テーマ：非可食バイオマスを利用したバイオリファイナーへの取り組み

講師：伊原 智人 殿 Green Earth Institute 株式会社

代表取締役（CEO）

② 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査

2022年7月6日

町田市バイオエネルギーセンター

（乾式メタン発酵による都市ごみ処理施設）

2022年7月13日

桑名広域清掃事業組合 資源循環センター

（可燃ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、プラスチック圧縮梱包施設）

2022年8月9日 環境ビジネス委員会 施設調査

小田原市環境事業センター

（清掃工場からの二酸化炭素を利用したメタネーション実証）

2022年8月24日

株式会社イズミ環境 八王子バイオマス・エコセンター

（都内大規模たい肥化工場の稼働停止から再稼働後までの経緯及び現在の稼働状況）

2022年9月13日

山形大学大学院 ソフト&ウェットマター工学研究室

（食品3Dプリンタをはじめとした3Dゲルプリンタ技術）

2022年10月5日

オリックス資源循環株式会社 寄居バイオガスプラント

（一般廃棄物を活用した乾式メタン発酵バイオガス発電施設）

2022年10月12日

ビオぐるファクトリーHANDA

（家畜ふん尿及び食品廃棄物等を原料としたバイオガス発電施設の稼働状況）

2022年10月14日

KAJIMA DX LABO

（建機の自律・自動打設工事及び土木の未来が体感できる施設）

2022年10月17日

田原浄化センター

〔災害時に応急復旧が可能な汚水処理技術の実証事業

（B-DASHプロジェクト）〕

2022年11月7日

福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）

（太陽光発電の電力を用いた1万kW級の水素製造装置を備える水素エネルギーシステムの実証）

2022年11月9日

姫路市下水処理施設「大的析水苑」珪藻培養パイロットプラント
(処理場に流入する汚水及び汚水処理により発生するCO₂を用いた
培養実験)

兵庫県立大学 細胞構造学分野 光合成研究グループ

[珪藻に関するフィジオロミクス (タンパク質の構造・機能およびゲノム
情報に基づいた個体レベルの現象・代謝を総合的に捉えるもの)、光合成
の研究]

2022年11月17日

株式会社タクマ タクマビル新館

及び館内Solution Lab (ソリューション ラボ)

(木造と鉄筋を組合せたハイブリッド型建築、一般廃棄物処理施設及びボ
イラプラントの運転状況、稼働状況を24時間体制で遠隔監視及び運転支援
する拠点での運用状況や人材育成)

2022年12月6日

国土技術政策総合研究所 建設DX実験フィールド

(土工フィールド及び出来形計測模型、水平ジブクレーンを活用したイン
フラDX推進の取り組み)

2022年12月20日

株式会社大栄工業 バイオガスパワープラント伊賀

(食品廃棄物を用いたバイオガス発電及びアナモックス排水処理設備)

2023年2月1日

空港施設株式会社 エネルギーセンター・SDプラント

(熱供給事業及び航空機汚水処理施設)

2023年2月15日

株式会社ユーグレナ バイオ燃料実証製造プラント

[日本初のバイオジェット・ディーゼル燃料の実証プラントにおける、使
用済み食用油や微細藻類ユーグレナ (和名: ミドリムシ) などを原料とし
たバイオ燃料「サステオ」の製造]

ウ. 循環ビジネスに関する情報収集

サーキュラーエコノミー及び廃プラスチック資源循環、鉄スクラップの利活用、
電池 (リチウムイオン電池、太陽光発電パネル) のリサイクルに関する政策動向や
取り組みについて情報収集を行った。

① 講演会

2022年6月14日

テーマ: 金属スクラップ市場の動向

講師: 三上 慎史 殿 株式会社日刊市況通信社 代表取締役社長

2022年6月29日

テーマ: 日本鉄鋼業および日本製鉄のカーボンニュートラルへの取り組み

講師: 堂野前 等 殿 日本製鉄株式会社 環境部 部長代理

2022年8月31日

テーマ：太陽光発電システムのリサイクルの現状と政策動向について

講師：福井 陽一 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
リサイクル推進室 室長補佐

テーマ：ガラス最先端再資源化技術

講師：加藤 聡 殿 ガラス資源化協議会 代表幹事

テーマ：太陽光パネル3R事業 (Reduce/Reuse/Recycle)

講師：渡辺 剛史 殿 丸紅株式会社
電力アセットマネジメント部 副部長

2023年1月16日

テーマ：リチウムイオン電池のリサイクル技術

講師：大和田秀二 殿 早稲田大学 理工学術院 教授

テーマ：リチウムイオン電池リサイクルの取組

～貴重な資源を捨てない・燃やさない技術とは～

講師：橋本 英喜 殿 本田技研工業株式会社
事業開発本部 事業開発統括部
リソースサーキュレーション企画部
チーフエンジニア

テーマ：車載リチウムイオンバッテリーの

リマニュファクチャリングへの取組

講師：蔀 貴行 殿 株式会社リコー リコーデジタルサービスBU
環境・エネルギー事業センター
第2開発室 開発2グループ

2023年1月17日

テーマ：サーキュラーエコノミーの最新動向

講師：喜多川和典 殿 公益財団法人日本生産性本部
コンサルティング部
エコ・マネジメント・センター長

テーマ：ISO/TC323 (循環経済) の国際標準化動向ほか

講師：清水孝太郎 殿 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部 環境・エネルギーユニット
持続可能社会部長・上席主任研究員
一般社団法人循環経済協会 理事

2023年2月22日

テーマ：Scope3排出量の算定について

講師：金澤 晃汰 殿 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
脱炭素ビジネス推進室 係長

2023年3月8日

テーマ：プラスチックリサイクルの現状と課題

講師：清水健太郎 殿 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

プラスチック容器事業部 課長

テーマ：プラスチック資源循環に関する政策動向

講師：水谷 努 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
リサイクル推進室 室長

2023年3月15日

テーマ：我が国におけるサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の
これから

講師：藤井 宏信 殿 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課
企画調整係長

② 施設調査

2022年7月28日

株式会社富山環境整備
(混合廃棄物の最新高度選別センター)

2022年11月22日

彩源株式会社
(AIロボット選別機を活用した飲料容器リサイクルプラント)

2023年3月7日

株式会社アクトリー R&Dセンター
(廃棄物の焼却技術に関する研究及び、廃棄物の焼却時に得られるエネルギーを有効活用したエコビレッジ構想)

エ. 二酸化炭素の回収及び利活用分野への取り組み方の検討

二酸化炭素の回収及び利活用装置を環境装置と位置付け、関連装置・技術の振興を目的とする活動に向けた検討を行った。また、関連施策や技術等に関する講演会を行った。

2023年3月28日

テーマ：カーボンリサイクル技術の現状と今後の展望

講師：清水 耕平 殿 株式会社富士経済 エネルギーシステム事業部
第二部 一課 課長

(6) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイトで広く提供した。

(7) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2022年4月19日

テーマ：カーボンニュートラルの実現に向けたカーボン・クレジット
の適切な活用について

講師：佐藤 滉介 殿 経済産業省 産業技術環境局
環境経済室 室長補佐

- b. 2023年1月26日
テーマ：水資源の有効利用で期待される水回収リサイクルの動向
講師：大熊那夫 殿 一般財団法人造水促進センター 専務理事
- イ. 環境関連施設調査
 - a. 2022年10月31日
北しりべし広域クリーンセンター
〔一般廃棄物処理施設の長期運営委託（二期目）の状況〕
 - b. 2022年11月1日
日本CCS調査株式会社
（CCS大規模実証試験における圧入後のモニタリング状況）

(8) 関係行政機関及び関連団体への協力

- ア. 経済産業省への協力
3R推進協議会企画運営委員会に委員を派遣した。
- イ. 環境省への協力
環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。
- ウ. 優良環境装置協議会への協力
優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。
- エ. 関連団体への協力
一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本下水道協会、一般財団法人日中経済協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

(1) 役員改選

2022年7月4日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：毛利 照彦 レイズネクスト株式会社 代表取締役社長（新任）

副部会長：石井 宏明 株式会社石井鐵工所 専務取締役（新任）

(2) 統計調査の実施

機種別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(3) 標準化の推進

JIS B 8501（鋼製石油貯槽の構造）とこれらに関係する最新の API（米国石油協会）規格との比較調査を行った。

(4) 調査研究の実施

タンク関連の関連規格及び関連法令について情報収集を行った。

(5) 施設調査の実施

2022年9月29日に水島エルエヌジー株式会社を訪問し、LNGタンクなどの施設の視察を行った。

(6) 講演会の実施

2022年4月19日にボイラ・原動機部会と合同で次の通り開催した。

テーマ：カーボンニュートラル時代における水素政策の今後の方向性

講師：安岡加菜子 殿 経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部

新エネルギーシステム課 水素・燃料電池戦略室 係長

(7) 部会間の交流

部会の活動及び各社の事業の参考となることを目的にボイラ・原動機部会との交流の内容について検討を行った。

(8) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 公益社団法人石油学会の設備維持規格委員会（屋外タンク）に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

イ. 消防庁の新技术を活用した屋外貯蔵タンクの効果的な予防保全に関する調査検討会にオブザーバーとして委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 役員改選

部会長の指名にて、2022年5月30日に次のとおり選任した。

副部会長：藤本 祥司 株式会社池貝 執行役員 営業部長（新任）

副部会長：佐藤 敏則 株式会社ニイガタマシンテクノ

執行役員 成機部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の3機種について、主要ユーザー業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を作成し、公表した。

(3) 標準化の推進

ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）の国内審議団体として、国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。

また、公益財団法人 JKA「2022 年度プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進補助事業」を活用して、次の ISO/TC270 国際会議に参加した。

a. 2022 年 5 月 23 日 ISO/TC270/WG2 (押出機) 第 1 回国際会議 (オンライン会議)

b. 2022 年 5 月 25 日 ISO/TC270 第 8 回総会 (オンライン会議)

c. 2022 年 6 月 21 日 ISO/TC270/WG2 第 2 回国際会議 (オンライン会議)

d. 2022 年 9 月 27 日及び 9 月 30 日 ISO/TC270/WG3 (プラスチック加工機械及びゴム加工機械のクランプシステム) 第 8 回国際会議 (オンライン会議)

イ. JIS B 8650 (プラスチック加工機械一用語) の改正について検討した。

ウ. 射出成形機のエネルギー消費量の測定方法について検討した。

(4) 機械安全の推進

射出成形機ユーザーが突発的な機械の故障に備えるために参考となる、定期点検が特に重要となる部品について故障事例等の情報を整理した事例集「射出成形機の予防保全の重要性」を作成し、公表した。

(5) 関連情報収集等調査の実施

プラスチック機械に関する米国、中国、及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。

(6) 国際交流の推進

欧州プラスチック機械工業会 (EUROMAP) 及び米国プラスチック産業協会 (PLASTICS) と統計交換を実施した。

(7) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

講演会

ア. 2022 年 7 月 27 日

テーマ: 「カーボンプライシングの最新動向と日本企業への影響」

講師: 元木 悠子 殿 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
サステナビリティコンサルティング第 1 部
地球環境チーム 主席コンサルタント

イ. 2023 年 1 月 12 日

テーマ: 「産業用制御システムのサイバーレジリエンス」

講師: 横見 光 殿 フェニックス・コンタクト株式会社 IMA 統括本部
本部長

(8) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び日本プラスチック機械工業会と交流を行った。

7. 風水力機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

(2) 標準化の推進

- ア. ISO/TC115 (ポンプ) の審議事項への回答及び改正案への投票に対応した。
- イ. ISO/TC117 (送風機) 及びISO/TC118 (圧縮機) に関する通知内容を確認・検討した。
- ウ. JIS B 8341 (容積形圧縮機－試験及び検査方法) の改正原案作成作業を継続した。
- エ. JIS B 8307 (遠心ポンプの技術仕様－クラス I) の改正原案を作成した。
- オ. JIS B 8313 (小形渦巻ポンプ) の改正原案を作成した。
- カ. JIS B 8319 (小形多段渦巻ポンプ) の改正原案を作成した。
- キ. JIS B 8322 (両吸込渦巻ポンプ) の改正原案を作成した。
- ク. JIS B 8324 (深井戸用水中モーターポンプ) の改正原案を作成した。
- ケ. JIS B 8325 (設備排水用水中モータポンプ) の改正原案を作成した。
- コ. JIS B 8327 (模型によるポンプ性能試験方法) の改正原案を作成した。

(3) 機械安全の推進

- ア. 汎用ポンプに関して、定期的なメンテナンスを怠ると発生するトラブルについて解説した資料である「汎用ポンプのトラブルシューティング」を作成し、公表した。
- イ. 汎用ポンプに関して、点検項目や部品交換の目安について記載した資料である「汎用ポンプ 保守管理について」を改訂し、公表した。
- ウ. ロータリ・ブロワ (ルーツ式) の仕組みや用途などについて解説した資料である「ロータリ・ブロワ (ルーツ式) の手引き」を改訂し、公表した。
- エ. 地震が発生した際のポンプや送風機の取り扱いについて示した資料である「ポンプ・送風機の地震への対応について」を作成し、公表した。
- オ. 空調用送風機についてのリスクアセスメント資料の作成作業を行った。
- カ. メカニカルシールの損傷事例とその原因や対策について解説した冊子である「メカニカルシールの損傷例と対策」の改訂作業を継続した。

(4) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- ウ. ポンプ、送風機、圧縮機関連のJISについて、外部からの技術的な問い合わせに対応した。

(5) 技術セミナー・講演会等の開催

次の技術セミナー等を開催した。

- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー [2022年7月5日]
テーマ: カーボン・ニュートラルに向けたエネルギーのマクロビューとそのインフラを

担うポンプの展望について

講師：坂口 順一 殿 元 千代田化工建設株式会社 フェロー

テーマ：『『構想設計力向上研修』～設計の手戻りを防ぐ構想設計力を身につけよう～』

講師：小方 弘成 殿 GTA技術コンサルティング 代表技術士

イ. メカニカルシール講習会 [2022年7月16日]

テーマ：メカニカルシールの基礎

講師：川角 陽介 殿 株式会社タンケンシールセーコウ
ユーザーサービス本部 本部長

ウ. 送風機技術者連盟 技術セミナー [2022年9月22日]

テーマ：重防食塗料について

講師：太田 優輝 殿 関西ペイント株式会社 汎用塗料本部 建設技術第2部)

テーマ：パラメトリック手法を用いた遠心コンプレッサの自動設計第2報 PLM運用編

講師：柏井 正裕 殿 エリオットグループ
グローバルマニュファクチャリング

エ. 風水力機械部会 講演会 [2022年11月25日]

テーマ：開発・設計品質の向上

講師：中村 雅行 殿 日機装株式会社 品質保証推進役

オ. メカニカルシール講習会 [2022年12月8日]

テーマ：メカニカルシールの取り扱いと運転保守

講師：上田 誠 殿 日本ピラー工業株式会社 技術本部 三田技術部
MS 技術グループ 課長

カ. プロセス圧縮機講演会 [2023年3月8日]

テーマ：CCS を取り巻く状況

講師：三好 啓介 殿 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
エネルギー事業本部 CCS・水素事業部長

キ. メカニカルシール講習会 [2023年3月10日]

テーマ：メカニカルシールの損傷例と対策

講師：梶野 正晴 殿 株式会社西島製作所 ポンプ製造部
メカニカルシール課 課長

(6) 関係省庁及び関連団体への協力

ア. 一般社団法人公共建築協会の要請に応じ、「機械設備工事機材承諾図様式集令和4年版」の改訂に協力した。

イ. 一般社団法人公共建築協会の要請に応じ、「機械設備工事監理指針令和4年版」の改訂に協力した。

ウ. 国土交通省の要請に応じ、「建築設備計画基準及び資料 令和3年版」、「建築設備設計基準及び資料令和3年版」の改訂に協力した。

エ. 公益社団法人日本下水道協会に「小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説」の改訂意見を提出した。

8. 運搬機械部会

(1) 役員改選

2022年7月12日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：茂垣 康弘 株式会社IHI 取締役 常務執行役員
産業システム・汎用機械事業領域長（再任）

副部会長：権藤 卓也 株式会社ダイフク 常務執行役員
イントラロジスティクス事業部
エンジニアリング本部長（再任）

副部会長：大熊 謙司 株式会社キトー 執行役員 国内営業本部長（再任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 標準化の推進

ア. JIS 規格への対応

- a. JIS B 2809（ワイヤグリップ）の追補改正原案を作成した。
- b. JIS B 8803（ベルトコンベヤ用ローラ）、JIS B 8825（仕分けコンベヤ）、JIS B 8941（立体自動倉庫システム - 用語）の改正案を検討した。
- c. シャトル台車式立体自動倉庫システムのJIS制定に向け、規格案を引き続き検討した。
- d. JIS B 0148（巻上機 - 用語）、JIS B 1168（アイボルト）、JIS B 2803（フック）、JIS B 8802（チェンブロック）、JIS B 8805（ゴムベルトコンベヤの計算式）、JIS B 8812（チェンブロック用リンクチェーン）、JIS B 8814（ベルトコンベヤ用プーリ）、JIS B 8815（電気チェンブロック）、JIS B 8816（巻上用チェーンスリング）の改正について検討した。

イ. ISO・IEC 等国际規格への対応

- a. ISO/TC111（丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品）及びTC111/SC3（構成要素部品及び付属品）の国際幹事国としてTC及びSCの運営等を行い、TC111国際議長としてキトー・アメリカ社のクリス・ヘス氏を推薦し国際承認を得た。
- b. ISO/TC111国内審議団体として、シャックルに関するISO 2415の国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。
- c. ISO/TC111国内審議団体として、吊り具の靱性評価方法に関する国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。

(4) 機械安全の推進

ア. 「チェーン・ローラ・ベルトコンベヤ、仕分けコンベヤ、垂直コンベヤ及び、パレタイザ検査要領書」の改訂版を作成した。

イ. 「大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドライン」

に沿って実施時の課題や解釈について検討した。

ウ. 「ラック式倉庫のスプリンクラー設備の解説書」について見直しを引き続き検討した。

エ. 「立体自動倉庫 工事安全基準」の改訂版を作成した。

(5) 海外動向調査の実施

アジア地域等に調査団を派遣し、需要動向等の調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し中止した。

(6) 展示会等の開催の推進

2022年9月13日～16日開催の「第15回国際物流総合展」(東京国際展示場)を共催した。

(7) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会 2022年7月12日

テーマ: 「最近の政策動向について」

講師: 川内 拓行 殿 経済産業省 産業機械課 課長補佐

イ. 研修会

a. 2022年8月26日

青函トンネル記念館(青森県東津軽郡)を訪問し、実際に工事作業に使った地下坑道を見学した。

b. 2022年10月14日

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)能代ロケット実験場(秋田県能代市)を訪問し、液体水素を燃料とする燃焼試験施設等の見学を行った。

c. 2022年10月27日

六ヶ所原燃PRセンター(青森県上北郡六ヶ所村)を訪問し、原子燃料リサイクル施設について説明を受けた。

d. 2022年11月21日

株式会社三井三池製作所 九州事業所(福岡県大牟田市)を訪問し、減速機製造工程の見学をした。

e. 2022年12月2日

マツダミュージアム(広島県安芸郡)を訪問し、マツダ車の歴史や、車製造ラインの見学をした。

(8) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、関係省庁及び一般財団法人日本規格協会等関連団体との交流を行った。

9. 動力伝導装置部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 関連情報収集等調査の実施

新型コロナウイルス流行の影響、国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。

なお、調査団の派遣は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(3) 国内外の規制等に関する調査の実施

ア. イギリスUKCAマーク、欧州エコデザイン指令改正、米国TSCA規則に関連した対応の現状を調査した。

イ. コネクテッドインダストリーズ、デジタルトランスフォーメーション、カーボンニュートラルの動向と動力伝導装置業界に与える影響について調査した。

(4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

施設調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省との交流を行った。

10. 製鉄機械部会

(1) 役員改選

ア. 2022年6月27日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：灘 信之 スチールプランテック株式会社 代表取締役社長（再任）

副部会長：片平 公平 Primetals Technologies Japan 株式会社

営業第一部 主幹部員（再任）

イ. 2023年2月1日の書面審議において、次の通り選任した。

部会長：若原 啓司 スチールプランテック株式会社 代表取締役社長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向、カーボンニュートラル実現に向けた取り組み等について情報収集、調査等を行った。

(4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

a. 2022年6月27日

テーマ1：物価高対策と取引適正化について

講師：今福 幸一 殿 経済産業省 製造産業局 素形材産業室
室長補佐

テーマ2：新・素材産業ビジョンと鉄鋼分野における脱炭素化に向けた取組

講師：富永 和也 殿 経済産業省 製造産業局 金属課 金属技術室
課長補佐

イ. 研修会

a. 2022年10月21日

夕張市石炭博物館（北海道）を訪問し、石炭採掘の歴史や技術の変遷、石炭と製鉄のつながり、安全に対する考え方等について知見を深めた。

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業との交流を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 役員改選

2022年5月19日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：米田 剛 アイナックス稲本株式会社 代表取締役会長（新任）

副部会長：元木 孝治 株式会社プレックス 取締役本部長（新任）

(2) 統計調査の実施

機種別、容量別の出荷台数の統計調査を行い、産業動向の把握を行った。

(3) 調査研究の実施

ア. 取扱いの際の危険性を喚起するガイドライン作成に向けて危険区域内のハザードマップ及び安全ステッカーの取付位置と種類について検討を行った。

イ. 2012年5月に発行した「関連法令に基づく届出書類一覧」の見直しの検討を行った。

ウ. リネンサプライ工場のCO2排出量の削減に向けて、処理能力10 t/日における2013年当時及び2022年のモデルの作成とCO2排出量を算出した。

エ. 耐用年数の短縮について関係団体へ働きかけた。

(4) 関連分野の動向調査

ア. 2022年7月30日～8月2日にアメリカ・アトランタで開催された「The Clean Show 2022」を部会員が視察し、海外業務用洗濯機の技術動向など情報共有した。

イ. 厚生労働省より 2022 年 9 月 21 日付にて「クリーニング所における衛生管理に関する通知の一部改正について」が発出され、新設された過酢酸による消毒方法について情報交換を行った。

(5) 施設調査の実施

2022 年 11 月 18 日にアイナックス稲本株式会社白山工場を訪問し、連続洗濯機等製造工場の視察を行った。

(6) 海外調査の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により調査団の派遣を見送った。

(7) 関連団体等との協力

一般社団法人日本ダイアパー事業振興会より「ダイアパー技術研修会」への講師派遣の依頼があり、部会会社（アイナックス稲本株式会社、株式会社アサヒ製作所及び株式会社東京洗染機械製作所）より講師を派遣した。

12. エンジニアリング部会

(1) 調査研究の実施

水素検討委員会にて各社のカーボンニュートラル関係の取り組みについて、情報交換を行った。

(2) 施設調査の実施

2022 年 12 月 1 日に清水建設株式会社北陸支店を訪問し、太陽光発電及び余剰電力を利用した水素エネルギー蓄電設備等施設の視察を行った。

(3) 講演会の実施

2022 年 11 月 16 日に次の通り開催した。

テーマ：カーボンニュートラルに向けた主要国の政策動向

講師：小川 順子 殿 一般財団法人日本エネルギー経済研究所 環境ユニット
気候変動グループ 研究主幹

(4) PCI/LF 委員会への協力

2005 年度より PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）委員会（日本機械輸出組合主催）の調査研究に参加し、2022 年度版の PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）報告書の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

2022年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

(1) 委員会

ア. 第 532 回 (2022 年 4 月 20 日)

a. 講演

テーマ：ロシア・ウクライナを巡る経済情勢について

講師：林 揚哲 殿 経済産業省 通商政策局 特別通商交渉官

b. 2021 年度事業報告 (案)

c. 2021 年度決算報告 (案)

d. 決議 (案)

e. 2022 年度産業機械工業功績者表彰候補者 (案)

イ. 第 533 回 (2022 年 6 月 15 日)

a. 講演

テーマ：ものづくり白書

講師：松高 大喜 殿 経済産業省 製造産業局 ものづくり政策審議室
課長補佐

ウ. 第 534 回 (2022 年 7 月 13 日)

a. 講演

テーマ：通商白書

講師：岡田 陽 殿 内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局
企画官 (前・通商政策局企画調査室長)

エ. 第 535 回 (2022 年 9 月 14 日)

a. 令和 5 年度税制改正要望 (案)

オ. 第 536 回 (2022 年 10 月 13 日)

a. 講演

テーマ：我が国の燃料アンモニア導入・拡大に向けた取組について

講師：渡邊 雅士 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
政策課 企画官

b. 関西大会における提言 (案)

c. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」改定案

カ. 第 537 回 (2022 年 12 月 14 日)

a. 講演

テーマ：カーボンリサイクル政策

講師：大下 慶 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房
カーボンリサイクル室 室長補佐

b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
キ. 第 538 回 (2023 年 2 月 15 日)

a. 講演

テーマ：製品サプライチェーンの CN に向けた排出量の見える化

講師：内野 泰明 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 企画官

b. 2023 年度政策委員会事業計画 (案)

ク. 第 539 回 (2023 年 3 月 16 日)

a. 講演

テーマ：経済産業省における標準化政策に係る取組

講師：比良井慎司 殿 経済産業省 産業技術環境局 基準認証政策課長

b. 2023 年度産業機械の受注見通し (案)

c. 2023 年度事業計画 (案)

d. 2023 年度収支予算 (案)

(2) 税制小委員会

2023 年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

(1) 委員会

新型コロナウイルス感染拡大の状況が続く中、雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、2022 年度は次のとおり 4 回開催した。

ア. 2022 年 7 月度委員会 (2022 年 7 月 6 日)

a. 2022 年度賃金・夏季賞与交渉状況

b. 新型コロナウイルスの現在の罹患・各種行動規制・在宅勤務状況

c. 育児・介護休業法改正対応

d. 建設業の総合評価落札方式における賃上げ・加点措置の実施状況等

e. 日当、各種手当の課税・非課税への対応

イ. 2022 年 10 月度委員会 (2022 年 10 月 26 日)

a. 2022 年度年末賞与交渉状況

b. 2022 年度新規採用状況

c. 労務管理関係

① 自動車移動を伴う労働時間への対応状況

② 残業代等の支給日変更状況

③ 社員の健康推進策とメンタルヘルス対策

- ④ 2023 年度 4 月採用の職種別・学歴別の初任給レベル
- ⑤ LGBT 課題への取り組み状況
- d. 新型コロナウイルス関係
 - ① 出社とテレワークの両立における課題、社員間のコミュニケーション活性化策の事例
 - ② コロナ感染を恐れて出社しない社員を出社させる手段
 - ③ 新型コロナウイルス罹患患者情報の把握状況
- e. 役員の選任

役員改選期に伴い次のとおり選任した。

委員長：高僧 英樹 株式会社栗本鐵工所 東京支社 総務部長（再任）
- ウ. 2022 年 12 月度委員会（2022 年 12 月 7 日）
 - a. 2022 年度 年末賞与交渉状況
 - b. BCP 対応
 - c. 台湾有事への対応
 - d. 副業・兼業の許可基準
 - e. 中途（正社員）採用
- エ. 2023 年 3 月度委員会（2023 年 3 月 17 日）
 - a. 2023 年度賃金・夏季賞与交渉状況
 - b. 新型コロナウイルスに関する対応
 - ① マスク着用の緩和に関する対応
 - ② 今後の社内体制の移行
 - c. 労務管理
 - ① 働き方改革による人事評価制度の変更
 - ② 障がい者の法定雇用率引き上げに関する対応
 - ③ BTM ツールの活用

（2）講演会

- ア. 2022 年 12 月 20 日

テーマ：『「人的資本経営」を目指し毎年進化するカゴメの人事制度』
～With コロナ時代の経営戦略と人材戦略の連動を目指して～

講師：有沢 正人 殿 カゴメ株式会社 CHO(最高人事責任者) 常務執行役員

（3）労働・雇用状況等の調査

- 労働、雇用に関する調査を行った。
- ア. 2022 年度賃金交渉状況調査
 - イ. 2022 年度夏季賞与交渉状況調査
 - ウ. 2022 年度年末賞与交渉状況調査
 - エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力
 - a. 2022 年度福利厚生費調査
 - b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2022年9月26日の委員会において、次のとおり選任した。

委員長：芝山 直 日立造船株式会社 常務取締役 (再任)

(2) 産業機械貿易振興事業

ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。

ウィーン担当：佐藤 龍彦

シカゴ担当：川崎 健彦

イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。

ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

(3) 産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

ア. 海外市場等に関する調査

人口増加の一途をたどるアフリカ大陸の主要国における経済、貿易動向、投資動向、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。

イ. 経済連携協定等に関する動向調査

環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定 (CPTPP) 等に関する動向について情報収集を行った。

ウ. 会員の海外展開に関する情報収集

産業機械業界における海外事業の支援を図るため、会員企業の海外展開に関する情報収集を行った。

(4) 海外貿易会議への協力

経済産業省主催の海外貿易会議 (産業機械) の幹事団体として、2023年度の開催に向け、内外関連機関と協力しつつ、アフリカ地域等における産業構造、投資状況等に関する情報収集を行い、貿易会議開催候補地の選定を行うと共に現地事前調査を行った。

(5) 講演会の開催

ア. 2022年7月27日

テーマ：欧州の脱炭素化におけるロシア・ウクライナ情勢の影響について

講師：尾森 圭悟 殿 日立造船株式会社 環境事業本部

環境プラント計画部 課長代理 (前ウィーン駐在員)

テーマ：米国経済及び製造業の概況について

講師：小川ゆめ子 殿 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課

課長補佐（前シカゴ駐在員）

イ. 2022年9月26日

テーマ：ロシア経済制裁に対する政府の対応

講師：黒田 紀幸 殿 経済産業省 貿易管理部 貿易管理課長

テーマ：ウクライナ情勢による日本企業への影響

講師：林 揚哲 殿 経済産業省 通商政策局 特別通商交渉官

ウ. 2022年12月12日

テーマ：アフリカの今と日本のアフリカビジネス

講師：佐藤 丈治 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 海外調査部
中東アフリカ課長

テーマ：アフリカにおける豊田通商の取り組み

講師：倭 浩司 殿 豊田通商株式会社 アフリカ企画部
企画統括グループ 課長補

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア. 各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ. 海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

(1) 委員会

2022年度は次のとおり2回の委員会を開催し、以下の事項について審議を行った。

ア. 2022年度第1回（2022年7月5日）

a. 月刊機関誌「産業機械」2022年1～6月号の経過報告

b. 月刊機関誌「産業機械」2022年7～12月号会員トピックス・コラムアンケート結果

c. 月刊機関誌「産業機械」2022年7月号特集

d. 月刊機関誌「産業機械」2022年12月号 その他特集

e. 月刊機関誌「産業機械」2023年の編集方針

f. 役員の改選

役員改選期に伴い、次の通り選任した。

委員長：中山 亨 株式会社荏原製作所 執行役

法務・総務・内部統制・リスク管理統括部長（再任）

副委員長：越智 崇 月島機械株式会社 経営統括本部 広報室 室長

経営企画部 次長兼グループリーダー（新任）

イ. 2022年度第2回（2022年12月9日）

a. 月刊機関誌「産業機械」2022年7～12月号会員トピックス・コラム掲載報告

b. 月刊機関誌「産業機械」2022年12月号その他特集の報告

- c. 月刊機関誌「産業機械」2022年12月号特別企画座談会の報告
- d. 月刊機関誌「産業機械」2023年1～6月号会員トピックス・コラムアンケート結果

(2) 施設見学会 (2022年10月20日)

中田食品株式会社の梅調味液バイオガス発電所(和歌山県田辺市)を訪問し、廃棄される梅調味処理時に発生するメタンガスを利用した発電設備の見学を行った。

5. 産業機械工業規格等調査委員会

(1) 委員会の開催

ア. 2022年8月24日

機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。また、2022年度JIS原案作成公募制度について報告した。

イ. 2023年2月28日

a. 役員改選

次のとおり選任した。

委員長：永田 修 株式会社荏原製作所 執行役
建築・産業カンパニープレジデント(新任)

b. 機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2022年4月5日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者11名を表彰候補者として選出し、理事会(書面)(2022年4月28日)へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 委員会

ア. 第89回委員会(2022年6月27日)

2022年度定例調査(VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査)の実施及び「環境活動報告書2022」の内容等について審議を行った。

また、2030年度CO2排出量削減目標の見直しについて検討を行った。

イ. 第90回委員会(2022年11月25日)

「低炭素社会実行計画」定例調査の結果について報告すると共に、「環境活動報告書2022」の掲載内容等について審議した。

また、2030年度CO2排出量削減目標の見直しや2050カーボンニュートラル実現に向けた考え方について意見交換を行った。

ウ. 第91回委員会（2022年12月8日）

「VOC大気排出実績調査」「循環型社会形成自主行動計画」定例調査の結果について報告すると共に、2030年度CO2排出量削減目標の見直しについて検討を行った。

(2) ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主管理のあり方について検討した。

イ. 環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。

また、2030年度CO2排出量削減目標の見直しや2050カーボンニュートラル実現に向けた考え方について検討を行った。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2022年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

なお、コロナ禍により現地取材が困難であるため、2020年度より掲載を休止している「会員企業の環境保全活動」に変わり、特集記事「2050年カーボンニュートラル実現に挑戦する産業機械～会員企業の取り組み」を掲載した。

(3) 内外動向の調査研究

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2022年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2022年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

(4) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等ワーキンググループ（2022年12月16日）において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

低炭素社会実行計画・循環型社会形成自主行動計画の2022年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

(5) 報告書等のとりまとめと情報提供

委員会活動において、「2022年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ関係機関へ提出する等、情報提供に努めた。

8. エコスラグ利用普及委員会

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進に必要な事業を企画立案した。また、エコスラグの標準化及び利用普及の推進活動を行うとともに、関係行政機関に協力し、専門家の派遣等利用普及事業の推進を支援した。

更に、委員会を効率的に運用するため、組織体制の見直しを検討し、独立委員会を環境装置部会の委員会に位置づけるとともに、傘下の2分科会を委員会に統合することとした。

(1) 標準化の推進

ア. JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」、JIS A 5406「建築用コンクリートブロック」に溶融スラグの使用に関する規定を追加するための活動を実施した。

(2) 利用普及の推進

ア. 「エコスラグ有効利用の現状とデータ集（2021年度版）」を2022年5月に発行した。

イ. エコスラグに関する調査

新型コロナ感染症の影響により、施設調査の実施を見送った。

ウ. 2023年2月、リサイクルポート推進協議会主催「循環資源説明会」に講師を派遣した。

エ. 自治体に対するスラグ利用普及支援

a. 自治体連絡会の開催

2022年10月26日に産官学の情報交換・情報共有を行った。

b. 自治体連絡会施設見学会の開催

新型コロナ感染症の影響により、施設調査の実施を見送った。

c. 「自治体通信」の発行

年1回の「自治体通信」を2022年3月に発行し、有効利用の情報共有を行った。

オ. 外部への情報発信

a. エコスラグ関連記事投稿

・産業機械 No. 860 (2022. 6)

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2022年6月9日に次のとおり選任した。

部会長：平川 亮一 株式会社ヒラカワ 常務取締役 滋賀事業部長（新任）

副部会長：松山 豊 株式会社高尾鉄工所 取締役 営業本部 本部長 兼
大阪営業部 部長（新任）

(2) 講演会の開催

ア. 2022年7月1日

テーマ：川崎重工業株式会社における国際水素サプライチェーン構築への取組み

講師：山口 正人 殿 川崎重工業株式会社 水素戦略本部 技術統括部
開発部二課長

イ. 2022年9月2日

テーマ：最近の近畿経済の動向について

講師：中島 泰子 殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部
企画調査課長

(3) 施設調査の実施

ア. 2022年6月9日に自衛隊松島基地（宮城県東松島市）を訪問し、第4航空団所属「第11飛行隊」を視察した。また、震災遺構 仙台市立荒浜小学校（宮城県仙台市）を訪問し、津波被災の状況を見学し、防災、減災の研修を行った。

イ. 2022年7月1日に神戸液化水素荷役実証ターミナル（神戸市中央区）を訪問し、液化水素荷役、貯蔵、配送設備等を見学した。また、水素CGSスマートコミュニティ実証地（神戸市中央区）を訪問し、水素を燃料とする1MW級ガスタービン・コージェネレーションシステム及び同システムを用いた水素由来の電気・熱エネルギーを病院等地域施設へ供給する実証設備の見学を行った。

ウ. 2022年10月6日に開催し、沖縄電力株式会社宮古支店 宮古第二発電所（沖縄県宮古島市）を訪問し、デュアルフューエルエンジン発電設備、ディーゼル発電設備、ガスタービン発電設備等の視察を行った。

(4) 東西合同会議

2022年10月6日に沖縄県宮古島市で開催し、2022年度事業計画及びスケジュールについて報告及び検討を行った。

2. 化学機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2022年9月15日に次のとおり選任した。

部会長：小林 康真 木村化工機株式会社 代表取締役 会長兼社長（再任）

副部会長：大田龍一郎 大同機械製造株式会社 代表取締役社長（再任）

副部会長：岸田 弘幸 三菱化工機株式会社 理事 大阪支社長（新任）

(2) 講演会の開催

ア. 2022年9月15日

テーマ：カーボンニュートラルの実現に向けて

講師：辻 敦士 殿 経済産業省 近畿経済産業局 製造産業課長

テーマ：「産業技術総合研究所の概要説明」について

講師：谷垣 宣孝 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所

産学官連携推進室長

(3) 施設調査の実施

2022年9月15日に国立研究開発法人産業技術総合研究所関西センター(大阪府池田市)を訪問し、同センターが研究している①蓄電池②ダイヤモンド③高機能ガラスの研究内容及び施設の説明があった。

3. 環境装置部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2022年7月13日に次のとおり選任した。

部会長：佐藤 淳 株式会社クボタ 理事 水環境総合研究ユニット（新任）

副部会長：近藤 守 日立造船株式会社 理事 環境事業本部

設計統括部長（再任）

副部会長：中村 克平 株式会社ササクラ 執行役員 水処理事業部（再任）

副部会長：大橋 一宏 株式会社タクマ 環境本部 運営技術部 部長（新任）

幹事長：井本 秀樹 住友重機械エンバイロメント株式会社 大阪支店長（新任）

(2) 講演会の開催

2022年7月13日に次のとおり開催した。（政策委員会と共催）

テーマ：都市海域がもたらす豊かな海とブルーカーボン 一目指す姿を数理モデルで考える—

講師：相馬 明郎 殿 大阪公立大学 大学院工学研究科 都市系専攻

都市学分野長 教授 都市科学教育研究センター長

(3) 施設調査の実施

2022年10月13日に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構「福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）」（福島県双葉郡浪江町）を訪問し、世界最大級の水素製造装置、貯蔵・供給施設を見学し、意見交換を行った。また、福島県双葉町減容化施設（福島県双葉郡双葉町）を訪問し、津波がれき、被災家屋等解体に伴い発生する廃棄物の焼却施設及び焼却灰処理施設を見学し、意見交換を行った。

4. 風水力機械部会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2022年9月7日に次のとおり選任した。

部会長：辻本 治 株式会社鶴見製作所 代表取締役社長（再任）
副部会長：佐上 栄介 三國重工業株式会社 代表取締役社長（再任）
副部会長：長岡 一宏 株式会社荏原風力機械 代表取締役社長（再任）
副部会長：岩波 嘉信 日本ピラー工業株式会社 代表取締役社長（再任）

(2) 講演会の開催

2022年9月7日に次のとおり開催した。

テーマ：大和ハウスグループが目指す2050年の脱炭素社会
講師：祖父江伊吹 殿 大和ハウス工業株式会社 環境部
環境マネジメントグループ 主任技術者

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 講演会の開催

2022年5月30日に次のとおり開催した。

テーマ：カーボンニュートラルの実現に向けて
講師：辻 敦士 殿 近畿経済産業局 産業部 製造産業課 課長

(2) 施設調査の実施

10月28日に東洋紡株式会社 敦賀事業所（福井県敦賀市）を訪問し、包装用、工業用ポリエステルフィルム等製造工程等を見学した。また、清川メッキ工業株式会社（福井県福井市）を訪問し、電子部品、半導体ウエハ等への電解めっき加工等について説明を受けた。

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年 8 回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

また、下記のとおり講演会を開催した。

(1) 2022年7月13日（環境装置部会との共催）

テーマ：都市海域がもたらす豊かな海とブルーカーボン ー目指す姿を数理モデルで考えるー

講師：相馬 明郎 殿 大阪公立大学 大学院工学研究科 都市系専攻
都市学分野長 教授 都市科学教育研究センター長

(2) 2022年9月28日

テーマ：2022年度関西地域設備投資計画調査について

講師：荒井 誠 殿 株式会社日本政策投資銀行 関西支店 企画調査課長

(3) 2023年3月29日

テーマ：ビックリフランス！

講師：ジュール・イルマン 殿 在京都フランス総領事

7. 労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため次の会議等を実施すると共に、意見交換を行った。

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2022年6月3日に次のとおり選任した。

委員長：巻幡 俊文 日立造船株式会社 執行役員 業務管理本部長（再任）

副委員長：田口 幸司 日本スピンドル製造株式会社 総務部長（再任）

副委員長：岩井 兼治 株式会社ダイフク 人事総務部 副部長（再任）

(2) 委員会

ア. 第1回委員会

2022年6月3日に開催し、次の講演会を開催し、意見交換を行った。

テーマ：大阪・関西万博と未来ビジネス

講師：石原 康行 殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部

2025NEXT 関西企画室 室長補佐

イ. 第2回委員会

2022年11月29日に委員会を開催すると共にカワサキワールド（兵庫県神戸市）を訪問し、創業から現在にいたるまでの川重グループの事業変遷等について説明を受けた後、幅広い分野の代表的な製品の展示物を見学した。

ウ. 第3回委員会

2023年3月8日に開催し、次の事項について報告及び意見交換を行った。

a. 新卒、既卒の正社員採用状況について

b. 海外物価高、円安下における海外出張手当見直しの有無及び国内物価高騰下におけるインフレ手当等措置の有無について

c. 賃上げへの取組状況について

8. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 関西大会懇親会

リーガロイヤルホテルにおいて2022年11月17日の関西大会終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて2023年1月11日に開催した。

9. 各種調査への協力

一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所が実施した関西団体協議会に出席し、活動方針の意見交換や施設調査等を行った。

V 共通基盤事業関係

1. 決議及び提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2022年5月）
- (2) 日本経済の長期停滞からの脱却に向けて（関西大会政策提言）〔関西大会（第605回理事会、第96回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2022年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2023年度産業機械の受注見通し（2023年3月30日公表）

3. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

- (1) 自主行動計画のフォローアップ指針における調査の実施
中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえ、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』として2022年11月に実施した。調査結果は2022年11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員各社と情報共有を図った。
- (2) 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定

経済産業省からの要請を受け、当工業会の行動計画を2022年10月28日に改定した。

(3) 適正取引自主行動計画推進委員会の開催

2022年10月13日に委員会を開催し、「産業機械・航空機等における下請適正取引等の推進のためのガイドライン（経済産業省）」の改訂を踏まえた当工業会の行動計画の改定案に関する会員企業への調査結果及び、行動計画の改定内容について報告を行った。

4. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2022年度（第49回）は、全国から9件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、表彰する。

なお、2021年度事業（第48回）において優秀と評価された環境装置について、2022年7月26日に表彰式を行った。

また、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計25名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

表彰対象装置及び受賞者は次のとおり。

(1) 経済産業大臣賞

装置名：低熱灼減量対応V型ストーカ式廃棄物焼却炉

受賞者：三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

(2) 経済産業省産業技術環境局長賞

装置名：下水高濃度返流水の省エネ型窒素除去装置

受賞者：大阪市（共同申請）

メタウォーター株式会社（共同申請）

(3) 中小企業庁長官賞（応募申請書受付順）

装置名：大気圧ロングアークプラズマ式排ガス処理装置

受賞者：クリーン・テクノロジー株式会社

装置名：多種廃棄物対応焼却炉（AIS型焼却炉）

受賞者：株式会社アクトリー

(4) 日本産業機械工業会会長賞（応募申請書受付順）

装置名：尿素分解装置を用いた無触媒脱硝システム

受賞者：株式会社タクマ

装置名：使用薬品（次亜塩素酸）を電解自家生成で賄う脱臭装置（ISEC 式）

受賞者：株式会社一芯

装置名：騒音対策用遮音ルーバー装置（しずかルーバー）

受賞者：清水建設株式会社

装置名：新型汚泥焼却設備〔OdySSEA（オデッセア）〕

受賞者：J F E エンジニアリング株式会社（共同申請）

日本下水道事業団（共同申請）

川崎市上下水道局（共同申請）

装置名：次世代型流動床式ガス化燃焼炉

受賞者：株式会社神鋼環境ソリューション

装置名：廃モータからの銅線回収システム

受賞者：三菱長崎機工株式会社

5. 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置について、設備メーカー（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

6. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

(1) 月刊機関誌「産業機械」の発行

2022 年は「脱炭素社会の実現に向けて挑戦する産業機械」を、2023 年は「世界をグリーンに！サステナブルな社会を実現する産業機械」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

2022 年 4 月号 (No. 858) プラスチック機械

2022 年 5 月号 (No. 859) 環境装置①

2022 年 6 月号 (No. 860)	環境装置②ーエコスラグー
2022 年 7 月号 (No. 861)	地域の脱炭素に貢献する日本産業機械工業会
2022 年 8 月号 (No. 862)	風水力機械
2022 年 9 月号 (No. 863)	ボイラ
2022 年 10 月号 (No. 864)	優秀環境装置
2022 年 11 月号 (No. 865)	化学機械・タンク
2022 年 12 月号 (No. 866)	業務用洗濯機 年間テーマを振り返って
2023 年 1 月号 (No. 867)	経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、 部会長年頭所感
2023 年 2 月号 (No. 868)	鋳山機械・製鉄機械
2023 年 3 月号 (No. 869)	運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト (<https://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2022年5月23日、The Okura TOKYOにおいて開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2021年度事業報告承認の件
- イ. 2021年度決算報告承認の件
- ウ. 2022年度事業計画決定の件
- エ. 2022年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- カ. 定款変更の件
- キ. 役員改選の件

(2) 理事会

2022年度に次の通り9回開催し、各議案について審議を行った。

- ア. 理事会（書面審議）（2022年4月27日）
 - a. 2021年度事業報告（案）及び2021年度決算報告（案）
 - b. 2022年度収支予算修正
 - c. 2022年度（公財）JKA補助事業の実施
 - d. 新入会員
 - e. 2022年度産業機械工業功績者表彰推薦者（案）
 - f. 2022年度定時総会の招集
- イ. 第604回理事会（2022年5月23日）
 - a. 会長、副会長、支部長、専務理事及び常務理事選任
 - b. 常任幹事、幹事の選任
 - c. 2021年度下期工業会活動状況
- ウ. 理事会（書面審議）（2022年6月30日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
 - b. 新入会員
- エ. 理事会（書面審議）（2022年7月29日）
 - a. 常任幹事補充選任
- オ. 理事会（書面審議）（2022年9月30日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
 - b. 新入会員
 - c. 令和5年度税制改正要望（案）
- カ. 理事会（書面審議）（2022年10月28日）
 - a. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定

- キ. 第 605 回理事会 (2022 年 11 月 17 日)
 - a. 政策提言ー日本経済の長期停滞からの脱却に向けて (案)
 - b. 2022 年度上期工業会活動状況
- ク. 理事会 (書面審議) (2023 年 2 月 28 日)
 - a. 幹事補充選任
- ケ. 理事会 (書面審議) (2023 年 3 月 31 日)
 - a. 2023 年度事業計画 (案) 及び 2023 年度収支予算 (案)
 - b. 関連規程等の整備 (案)
 - c. 常任幹事・幹事補充選任
 - d. 新入会員

(3) 運営幹事会

2022 年度に次のとおり 7 回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外情報、当工業会の活動状況等について報告を行った。

- ア. 第 91 回運営幹事会 (2022 年 4 月 27 日)
 - a. 講演
 - テーマ：貿易管理を巡る最近の動向について
 - 講師：風木 淳 殿 経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部長
 - b. 委員長の選出
 - c. 新入会員
 - d. 2021 年度事業報告 (案) 及び 2021 年度決算報告 (案)
 - e. 決議 (案)
 - f. 2022 年度産業機械工業功績者表彰候補者 (案)
- イ. 第 92 回運営幹事会 (2022 年 6 月 21 日)
 - a. 講演
 - テーマ：経済産業省における標準化政策と今後の方向性について
 - 講師：田中 哲也 殿 経済産業省 大臣官房審議官
 - b. 常任幹事・幹事補充選任
 - c. 部会長の選出
 - d. 新入会員
 - e. 第 69 回全国産業機械野球大会結果
- ウ. 第 93 回運営幹事会 (2022 年 7 月 20 日)
 - a. 講演
 - テーマ：総合重工業における DX の推進
 - 講師：小宮 義則 殿 株式会社 I H I 常務執行役員
高度情報マネジメント統括本部長
 - b. 常任幹事補充選任
 - c. 委員長・部会長の選出
- エ. 第 94 回運営幹事会 (2022 年 9 月 20 日)
 - a. 講演

テーマ：欧州の脱炭素化におけるロシア・ウクライナ情勢の影響について

講師：尾森 圭悟 殿 日立造船株式会社 環境事業本部
環境プラント計画部
(前 産機工ウィーン駐在員)

テーマ：米国経済及び製造業の概況について

講師：小川ゆめ子 殿 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課
課長補佐 (前 産機工シカゴ駐在員)

- b. 常任幹事補充選任
- c. 部会長の選出
- d. 新入会員
- e. 令和5年度税制改正要望 (案)

オ. 第95回運営幹事会 (2022年10月19日)

a. 講演

テーマ：エネルギー政策の動向

講師：小澤 典明 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 次長

- b. 委員長の選出
- c. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定案

カ. 関西大会 (第96回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議) (2022年11月17日)

- a. 委員長の選出
- b. 政策提言－日本経済の長期停滞からの脱却に向けて (案)
- c. 講演

テーマ：関西経済の未来に向けて～経済産業省の取組紹介～

講師：伊吹 英明 殿 経済産業省 近畿経済産業局長

キ. 第97回運営幹事会 (2022年12月20日)

- a. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
- b. 2023年新年賀詞交歓会

ク. 第98回運営幹事会 (2023年2月24日)

a. 講演

テーマ：荏原製作所におけるDXの取り組み

講師：小和瀬浩之殿 株式会社荏原製作所 執行役 情報通信統括部長 兼
CIO

- b. 部会長の選出

ケ. 第99回運営幹事会 (2023年3月22日)

a. 講演

テーマ：経済安全保障を巡る国際情勢と我が国の対応

講師：猪狩 克郎 殿 経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部長

- b. 2023年度産業機械の受注見通し (案)
- c. 2023年度事業計画 (案)
- d. 2023年度収支予算 (案)

- e. 幹事補充選任
- f. 部会長の選出
- g. 新入会員

(4) 会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行うため、2023年3月10日に開催し、産業機械業界の景気動向、2023年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

(5) 会長、委員長、部会長会議

2022年12月20日に開催し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

(6) 監事監査

2021年度の事業報告及び決算報告について、2022年4月25日に細川監事（ホソカワミクロン株式会社）、井上監事（株式会社井上製作所）、平田監事（一般財団法人日本品質保証機構）によって監査が行われた。

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

The Okura TOKYOにおいて、2022年5月23日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式の終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

The Okura TOKYOにおいて2023年1月6日に開催した。来賓を代表され、経済産業省製造産業局長 山下隆一殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2022年度産業機械工業功績者の表彰

2022年5月23日の定時総会において、次のとおり表彰した（表彰順）。

氏名	会社名	推薦部会・委員会
家山 一夫 殿	元・日立造船株式会社	エコスラグ利用普及委員会 環境装置部会
伊藤 和博 殿	株式会社高尾鉄工所	ボイラ・原動機部会
金子 一彦 殿	株式会社荏原製作所	環境委員会
菊地 卓 殿	月島機械株式会社	環境委員会
岸田 泰則 殿	I H I 運搬機械株式会社	運搬機械部会

塩見 裕 殿	株式会社ササクラ	環境装置部会
白石 雅明 殿	新明和工業株式会社	風水力機械部会
高橋 毅 殿	株式会社 I H I	環境委員会
中野 淳 殿	住友重機械エンバイロメント株式会社	環境装置部会
柳川 徹 殿	トーヨーカネツ株式会社	タンク部会
渡邊 宏司 殿	株式会社日立産機システム	風水力機械部会

4. 団体生産物賠償責任保険（P L 保険）の提供

2022年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL保険）の募集を実施し、円滑な運営に努めると共に、2023年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 全国産業機械野球大会及び産業機械テニス大会等の福利厚生事業

（1）第 69 回全国産業機械野球大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1954（昭和 29）年から毎年開催しており、全日本実業団野球連盟、日刊工業新聞社、産業経済新聞社、スポーツニッポン新聞社の後援のもと、2022 年 6 月 4 日及び 6 月 11 日に東京薬業健康保険組合総合運動場（埼玉県和光市）において開催した。なお、参加は 5 チームであった。

優 勝：株式会社 I H I
 準優勝：ダイキン工業株式会社
 第 3 位：株式会社電業社機械製作所

（2）第 63 回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960（昭和 35）年から毎年開催しており、日刊工業新聞、産業経済新聞社の後援のもと、2022 年 9 月 3 日に株式会社荏原湘南スポーツセンター（神奈川県藤沢市）において 3 年ぶりに開催した。なお、参加チームは 6 チームであった。

優 勝：三菱重工業株式会社
 準優勝：株式会社荏原製作所
 第 3 位：オルガノ株式会社

（3）2022 年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年 2 回会長杯ゴルフ大会を開催している。2022 年度の優勝者は次のとおりであった。

ア. 第 1 回 2022 年 5 月 24 日 小金井カントリー倶楽部
 優 勝：前嶋洋左右 殿 東都フォルダー工業株式会社

イ. 第2回 2022年11月18日 茨木カンツリー倶楽部
優勝：続木 治彦 殿 住友重機械搬送システム株式会社

6. セミナーの開催

次のとおり特別講演会を開催した。

(1) 2022年12月20日

テーマ：2023年の習近平政権の内政と外交

講師：近藤 大介 殿 講談社 特別編集委員

現代ビジネス中国問題コラムニスト

明治大学講師

一般社団法人 日本産業機械工業会

本部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

FAX 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

FAX 大阪 (06) 6363-3086 番
